

学籍番号	氏名	担当教員	テーマ	
M30-0501K	吉田 桃子	大曽根 先生	承認印	Let's マスク美人 ～アイメイク機能の開発～

1. 研究目的

コロナウイルスの流行により、現在の生活にマスクは必要不可欠である。私はマスク生活をしている中で様々なストレスを感じている。その中で特に問題視しているのが、①自分に似合うマスクが分からず印象が悪く見えてしまうこと、②目元しか見えていない中でメイクに変化を出すのが難しいことである。そこで、以上2点のストレスを解消し、マスク生活を楽しめるシステムを開発したいと考えた。

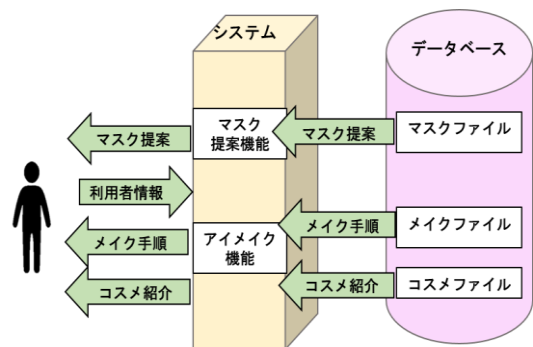


図1 システム概要

2. システム概要

本システムは、ユーザーに似合うマスクの診断をし、その結果を基にマスクとユーザーの要望に沿ったアイメイクの提案をするシステムである。そのシステム概要を図1に示す。このシステムには以下の2つの機能を持たせた。

(1) マスク提案機能：ユーザーに合ったマスクの種類を提案する機能である。

(2) アイメイク機能：ユーザーの要望に合わせたアイメイクを紹介する機能である。

筆者はアイメイク機能の開発を担当した。



図2 アイメイク方法画面

3. アイメイク機能の開発

本機能は以下の2つの機能から構成した。

(1) アイメイク方法機能

ユーザーが要望を入力すると、図2のようにアイメイク方法を表示する機能である。アイメイク方法を分かりやすく表示させるため、完成図とアイメイク手順に両目仕様のイラストと説明文を表示するよう工夫した。

(2) コスメ購入機能

出力された各アイメイク方法に必要なコスメを図3のように表示し、すぐに購入できるようにする機能である。多様なブランドのコスメを、購入サイトのURLとともに表示することにより、ユーザーが購入しやすくするよう工夫した。



図3 おすすめコスメ画面

4. 研究成果

- (1) アイメイク方法機能により、各ユーザーに合うアイメイクが容易にできるようになった。
- (2) コスメ購入機能により、様々なサイトを調べずに購入すべきコスメが分かるようになった。

5. 残された課題

- (1) 「おすすめコスメ」で提案するブランド数を増やし、限定商品も紹介できるようにしたい。
- (2) 「プラスαコスメ」をアイメイクに取り入れるメリットをユーザーに伝わりやすくしたい。

キーワード	マスク、アイメイク、マスク映えメイク、コスメ、コスメ購入				
種類	システム開発	手法	メイク提案	データ源	メイクサイト
使用ハード	パソコン	使用ソフト	Visual Studio2017	使用言語	Visual Basic

